

第13回

全国高校生

手話パフォーマンス甲子園



高校生が手話言語を使った歌唱、ダンス、演劇、コントなどの様々なパフォーマンスを繰り広げます！



令和8年 **9月27日** 日

会場：とりぎん文化会館
(鳥取県鳥取市尚徳町101番地5)

高校生なら誰でも参加できます!!

参加チームを募集します!

| | | | |
|------------|-------|---------------------------|-------|
| 申込期間 | 4/20月 | ▶ | 6/26金 |
| 予選審査動画提出期限 | 7/9水 | 予選審査会 | 7/28火 |
| 結果発表 | 7/29水 | 本大会出場チームに 交通費・宿泊費の助成あり | |



公式動画チャンネル
過去大会の演技動画
はこちら



公式Instagram
最新情報はこちらから

大会公式ホームページ募集の詳細はこちら▶

<https://www.pref.tottori.lg.jp/koushien/>



詳しくは

手話パフォーマンス甲子園

検索



YouTube

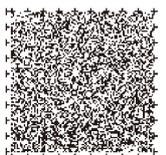
- 主催／手話パフォーマンス甲子園実行委員会
[事務局] 鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課内
- 共催／鳥取県、公益社団法人 鳥取県聴覚障害者協会
- 特別協賛／日本財団
- 特別協力／一般財団法人 全日本ろうあ連盟

Supported by
 日本財団
THE NIPPON FOUNDATION



本事業は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 (SARTRAS) の共通目的基金の助成を受け実施されています。

▶目の不自由な方のため
の音階コード



● 目的

ろう者とうろう者以外の者が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を「手話の聖地」鳥取県で開催する。

● 大会概要

- (1)大会名 第13回全国高校生手話パフォーマンス甲子園(以下「本大会」という。)
- (2)日 時 令和8年9月27日(日)
午前9時30分から午後4時10分まで(時間は予定)
- (3)会 場 とりぎん文化会館(鳥取県鳥取市尚徳町101-5)
- (4)出 場 予選審査を通過した16チーム
(演劇・コント・ポエム等部門、ダンス・歌唱部門 各8チーム)
- (5)内 容 以下のとおり
- ①開会式(関係者挨拶、優勝旗返還、選手宣誓、チーム紹介等)
 - ②出場チーム演技(前半:演劇・コント・ポエム等部門 後半:ダンス・歌唱部門)
 - ③ゲストコーナー ④審査結果発表・表彰式 ⑤講評・閉会

● 主催 手話パフォーマンス甲子園実行委員会

● 共 催 鳥取県、公益社団法人 鳥取県聴覚障害者協会

● 特別協賛 日本財団

● 特別協力 一般財団法人 全日本ろうあ連盟

● 参加資格

- (1)令和8年度に高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)、特別支援学校高等部、高等専門学校(3年生まで)、専修学校及び各種学校(修業年限が高等学校と一致している生徒に限る。)に在籍していること。
- (2)本大会に参加することについて、校長の承認が得られていること。また、参加する生徒について、校長の推薦が得られていること。
- (3)本大会への参加に当たって、原則として在籍する学校の教職員が引率ができること。
- (4)原則として、本大会の全日程、本大会前日のリハーサル及び交流会に参加できること。

● チーム編成

1チームの編成は、両部門とも一校又は複数校で編成するチームの生徒及び引率者とし、生徒は演技者の他、演技の補助者や必要に応じてチームの介添え者を含めることとする。人数は最大で生徒20人以内、引率者10人以内とし、予選参加者は原則として本大会に出場できる生徒とする。ただし、予選審査後に生じたやむを得ない事情等がある場合は、本大会に出場する生徒を変更(若干名の増減)できるものとする。

各部門において、同一校から複数のチームの参加は可能とするが、本大会に出場できるのは、各部門の予選審査で同一校中最上位のチームのみとする。なお、同一人が参加できる部門は一つであり、かつ、参加する部門においても複数チームに重複して参加することは認めない。

● 演技内容等

- (1)手話言語を使った演劇、ポエム、コント、落語、漫才、ダンス、歌唱などのパフォーマンスを「演劇・コント・ポエム等部門」「ダンス・歌唱部門」の2部門に分けて実施する。パフォーマンスは表情も含め手話言語を正確に使いながら、伝えようとする意志をしっかりと持ち、工夫された演出や構成と豊かな表現力により演じられるものとする。なお、これまで手話パフォーマンス甲子園(予選及び本大会含む)に出場したことのあるチームについては、新しい手話言語表現に挑戦していただきたいという趣旨から、昨年とは異なるタイトル、脚本、楽曲での演技内容にしていきたい。また、審査基準としては、必ずしも音(音声や音楽など)を用いる必要はないことを申し添える。
- (2)本大会での演技時間は、両部門ごとに以下のとおりとする。
演劇・コント・ポエム等部門 3分以上8分以内
ダンス・歌唱部門 3分以上6分以内
なお、予選審査会においては、3分以内の動画を提出するものとする。
- (3)演技スペースは、概ね間口10メートル、奥行5メートルの範囲とする。なお、演技中に演技スペースから舞台袖への出入りは可能とする。
- (4)情報保障の観点から、演技中、セリフや歌詞等には字幕を必ず表示させること。字幕は、予選審査動画においては映像の中に、本大会においては演技スペース後方に設置するスクリーンに表示させること。なお、本大会の演技中は、主催者側でセリフや歌詞等の要約筆記等は行わない。
- (5)舞台上での演技(音声によるナレーション等の演技補助を含む)は全て生徒が行うこととし、字幕表示、音響・照明のキュー出し等、演技以外の舞台進行に係る作業は生徒が主体的に行うよう努めるものとする。
- (6)演技の補助として、簡素な小道具、舞台装置、背景、スクリーン等のみ使用を認める(概ね1分以内に準備が完了できるものに限る)。なお、演技中に、小道具、会場にない設備(特殊な照明や音響等)等を使用する場合は、原則として各チームにおいて用意することとする。なお、これらの使用については、本大会前に舞台監督と詳細の打ち合わせをすることとする。
- (7)スクリーンに表示する内容については字幕のみとする。
- (8)予選審査における動画の撮影ルール等の取り扱いは、別途提示する。なお、予選審査に複数の演技内容の動画を提出することは認めない。
- (9)歌唱を行う際は、発音が困難な場合を除き、CD音源や事前収録した音源を歌唱に利用する(いわゆる口パクやかぶせ)のではなく、自ら発声する方法で本番(予選審査を含む。)に挑戦してほしい。なお、CD音源等を使用する場合には、当該音源の販売元等が把握でき著作権者が明確になっているものとする。
- (10)本大会において演技中にCD音源を使用する場合も、当該音源の販売元等が把握でき著作権者が明確になっているものとする。ただし、インターネット(YouTube)でライブ配信する映像及び後日公開する映像については、著作権者の許可が得られないものは、CD音源部分の音声(歌唱やセリフ等)を消去することとなるため、原則は、参加校で著作権を持つもの、参加校で許可を得ているもの、著作権者の許可が不要なものを使用することが望ましい。
- (11)演技時に自チームの完全なオリジナル作品ではない著作物を引用等する場合(シナリオや美術道具、ダンス等)は、会場での上演や、本大会当日のライブ配信、大会後の演技映像の公開にあたって、著作権を侵害することのないよう自チームにおいて事前に対処しておかなければならない。なお、音楽については(10)のとおりだが、楽曲の改変(歌詞を変えたり、編曲するなど)に該当する場合は、著作権者の許可が必要となるため、自チームにおいて対処しておくこととする。

● 審査方法

- (1)主催者が委嘱した審査員が部門毎に審査及び採点を行う。
- (2)審査員は、各部門5名から構成する。審査員長は主催者が選出し、両部門の審査を行うこととする。
- (3)予選審査は、参加申込みチームが提出した演技動画を視聴する方法により、審査員が行う。
- (4)予選審査会及び本大会の審査基準、採点方法、演技時間の計測方法等は、別途定める。

● 参加申込方法・提出資料

- (1)申込期間 令和8年4月20日(月)から6月26日(金)まで
※郵送による申込みは、提出期限の消印有効
※予選審査動画の提出期限は、令和8年7月9日(木)午後5時まで【必着】
- (2)提出資料 「とっとり電子申請サービス」の申込フォームに各提出資料を添付して参加申込みすること。
①参加申込書 ②校長承認及び推薦書 ③予選参加者名簿
④チーム紹介文 ⑤予選審査演技情報 ⑥チーム画像
⑦高校名の手話動画 ⑧予選審査動画

提出期限

- ①～③:6月26日(金)
- ④～⑥:7月3日(金)
- ⑦～⑧:7月9日(木)

● 参加料 不 要

● 助成金

出場チーム(生徒、引率者)に、以下のとおり交通費及び宿泊費の実費相当額を設定上限額内で助成する。なお、助成申請方法等については、別途事務局が示す手続きによること。(領収書等必要)

※各地方の1チームあたりの上限額は以下のとおり

| | |
|----------------------|----------|
| 北海道・東北、関東、中部、九州・沖縄地方 | 385,000円 |
| 中国・四国(鳥取県を除く)、近畿地方 | 335,000円 |
| 鳥取県内 | 285,000円 |

● 表彰

表彰は以下のとおりとする。

- (1)部門毎での表彰
ア 優勝(賞状、優勝旗、メダル、副賞を授与する。)
イ 準優勝(賞状、準優勝旗、メダル、副賞を授与する。)
ウ 3位(賞状、盾、メダル、副賞を授与する。)
エ 審査員特別賞
- (2)大会開催に関わる以下の団体が別途選出したチームへの表彰(部門問わず)
全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞(各賞ごとに賞状、盾、副賞を授与する。)
- (3)その他、上記表彰対象チーム以外の全ての本大会出場チームに手話パフォーマンス奨励賞を授与する。

● 予選審査会・審査結果発表

- (1)日 程 令和8年7月28日(火)及び29日(水)
- (2)会 場 鳥取市内
- (3)内 容 参加申込みチームが提出した予選審査動画の視聴により審査を実施し、本大会に出場する16チームを選出する。
- (4)結 果 令和8年7月29日(水)に審査結果発表会を公開して行う(インターネットでライブ配信あり)。
なお、発表会終了後、公式ホームページ上に審査結果を掲載する。
- (5)その他 上記(4)の審査結果発表会の際に、本大会の各チームの演技の順番を決定する。また、本大会出場チーム確定後に選手宣誓を担当するチームの抽選を行う。
なお、選手宣誓については、手話言語を用いて行うこととする。

● 交流会

- (1)日 時 令和8年9月26日(土)(本大会前日)
午後6時から午後8時30分まで(時間は予定)
- (2)会 場 鳥取県鳥取市内
- (3)内 容 出場チームや大会関係者等が一堂に会し、交流を深めるもの。
- (4)その他 参加者の交流を深める目的であることから、原則として参加すること。(参加費は不要。)

● スケジュール

| | | |
|-------------|----------|---------------------------------------|
| 令和8年(2026年) | 4月20日(月) | 参加申込み受付開始 |
| | 6月26日(金) | 参加申込み締切 |
| | 7月9日(休) | 予選審査動画の提出締切 |
| | 7月28日(火) | 予選審査会 |
| | 7月29日(休) | 予選審査結果発表 (結果発表、本大会演技順及び選手宣誓チームの決定) |
| | 9月26日(出) | リハーサル、交流会 |
| | 9月27日(日) | 本大会 |

● 問合せ先

手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局
〒680-8570 鳥取市東町一丁目220番地
(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課内)
電話:0857-26-7682 FAX:0857-26-8136
Eメール:s-koushien@pref.tottori.lg.jp

● 公式動画チャンネル(YouTube)

過去大会のパフォーマンス動画を公開中!
<https://www.youtube.com/user/skoushien>



開催要項・参加申込方法等について

必ず大会公式ホームページを御確認ください。
<https://www.pref.tottori.lg.jp/koushien/>

手話パフォーマンス甲子園 🔍 検索

